

市民参加型の事業展開が成功し、新たな展開につながった

串 間 商 工 会 議 所

機関名	串間商工会議所			
所在地	宮崎県串間市大字西方5657番地			
電話番号	0 9 8 7 - 7 2 - 0 2 5 4			
地域概要	(1)管内人口	2万3千人	(2)管内商店街数	3 商店街
事業の対象となる 商店街の概要	(1)商店街数	1 商店街	(2)会員数	76商店
	(3)空店舗率	25.2%	(4)大型店空き店舗数	1 店
商店街の類型	1. 超広域型商店街 2. 広域型商店街 3. 地域型商店街 4. 近隣型商店街			

【事業名と実施年度】

平成14年度 空き店舗対策事業

「まちのカルチャースポット」をコンセプトにした新しい文化・芸術ゾーンの創出

- ・アートギャラリーの設置
- ・ライブ館の設置
- ・カルチャー教室の開設

総事業費

3,179千円

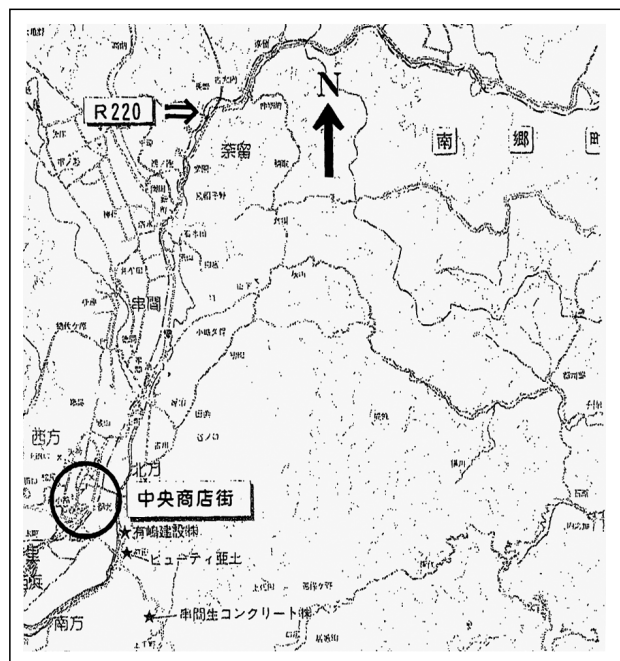
【事業実施内容】

1. 背景

平成5年8月、串間市の中心部に位置する泉町・仲町商店会が経営基盤強化を図るため合併により「串間中央商店街振興組合」を設立し、各種事業を展開してきた。しかしながら、かつての賑わいは薄れ、平成13年度に行った調査では空き店舗は30%超であった。

このような商業環境に対処するため、既存イベントの拡充等に取り組んできたが、一過性のイベント事業では地域住民とのふれあいの機会も少なく、事業効果も充分とは言えない状況であり、さらなる活性化の展開が求められた。

また、地域の若者から空き店舗を利用したイベント実施についての要望や、地域住民からの趣味等の発表の場が少ないなどの声があった。



串間市中央商店街の位置

串間商工会議所

これらを踏まえ、14年度の空き店舗対策を講ずることとなった。

2. 事業内容

(1) 対象商店街と実施期間

対象商店街名 串間中央商店街振興組合

実施期間 平成14年7月23日～平成15年3月31日

(2) 実施内容

1) アートギャラリーの設置

市内には数多くの文化サークルが存在しているが、そのほとんどが一般の方々に作品を披露する機会に恵まれず、その機会を望んでいる。そこで、商店街の中心部に市民（消費者）が気軽に立ち寄れる空間を設け、文化・芸術作品を展示するアートギャラリーを設置し、数多くの作品展を開催した。

- ・美しい街並み写真展、こだわりの住まい展
- ・手づくりの布たち展
- ・さつき園の園生作品展
- ・絵画愛好会作品展
- ・手づくり雑貨店
- ・パッチワーク作品展
- ・パッチワーク雑貨展
- ・手づくり人形展
- ・手作りかご展
- ・創作羽子板展
- ・グラフィックデザイン展
- ・手織り・染物展
- ・生涯学習作品展
- ・井出メロディ作品展、愛宕まつり写真展
- ・愛宕まつり写真展の作品選考会

※「愛宕まつり」は中央商店街振興組合主催により開催されるイベントであり毎年7月23日に開催されている。

2) ライブ館の設置

市外に流出しつつある若者に地元商店街への関心を高めてもらうため、恒常的に音楽活動を展開できるライブ館を開設した。プロ・アマ問わず、様々なジャンルの音楽イベントを開催し、市内はもとより市外の若者に至るまで幅広い区域からの集客を図った。

- ・高校生ライブ
- ・スペシャルライブ
- ・秋祭りライブ



作品展示風景（アートギャラリー）
（「平成14年度商店街活性化先進事業事業報告書」より）



ライブ開催風景（ライブ館）

- ・クリスマスライブ
- ・県南ライブ
- ・ミニコンサート

3) カルチャー教室等の開催

来街者の増加を図り、商店街が持つ本来の機能を多種・多様化させることを目的にアートギャラリーの一部分に市民一般が気軽に学べるカルチャー教室を併設させた。

各カルチャー教室は、毎月1回～8回程度定期的で開催されるが、他の時間帯においてもサークル活動の希望者を一般から募り、終日市民が気軽に使える空間とした。

- ・囲碁教室
- ・パッチワーク教室
- ・絵画教室
- ・手織り教室
- ・パソコン相談
- ・ギター教室（ライブ館にて）



囲碁教室

【効 果】

「まちのカルチャースポット」をコンセプトとし、新しい文化・芸術ゾーンの創出を図ることを目的に、空き店舗対策事業に取り組んだが、幅広い層の方々の関心を商店街に向けられたことで、それまでの商店街に不足する機能を充足させる施設として、大変重要な役割を果たした。

また、施設が中央商店街の中心部に位置していることもあり、商店街のイベントの拠点としてや、商店街の会合の場としても利用され、コミュニティセンター的役割を果たすなど、期待していた以上の成果を得ることができた。

(1) アートギャラリーについて

オープニングセレモニーから期間中に開催された作品展までで、延べ2,476名の来館者があった。来館者のおよそ4割は串間市外から訪れており、市内外に広くその存在が認知された。

また、作品展示者と来館者、そして近隣商店街の方々がうまくコミュニケーションを図り、施設内の休憩スペースで様々な情報の交換が行われるなどの成果も得られた。

(2) ライブ館について

ライブ館としての空き店舗活用は幅広い層の方々の支持を受けることができた。オープン当初は、市内外から施設の見学者が訪れ、市外に流出しつつある若者の関心は、確実に地元商店街に向けられた。さらに、当初ターゲットとしていなかった未成年者層の関心度も非常に高く、父兄を通じての施設利用申込みや問い合わせが数多く寄せられるなど、期待していた以上の成果が得られた。

串間商工会議所

(3) カルチャー教室について

カルチャー教室では、事業開始早々に予定していた「英会話教室」が実施できなくなったものの、代わりに実施した「パッチワーク教室」と「手織り教室」が大変好評を博し、継続して実施して欲しいとの要望を多数受けた。また「囲碁教室」においては、普段商店街を滅多に訪れることのない男性高齢者の交流が図られた。

【課題・反省点】

課題としては、来館者と近隣の商店との接点をいかに保ち、市民団体に施設運営にさらに積極的に参画していただき、中心市街地の活性化のための問題意識を共有し、継続的な情報交換をいかに図っていくかということがあげられる。

平成15年度に入り、カルチャー教室については、一部規模を縮小させたが、アートギャラリーは現在も継続して展示を行っている。そして、ライブハウスは、平成15年4月に正式に運営を民間へ委託し、同時に風俗店としての許可を申請し、本格的なライブハウスとしてリニューアルオープンした。

【教 訓】

市民団体の熱心な協力があり、施設をオープンさせるための経費を最小限に抑えることができた。本事業のような市民参加型の事業を展開するには、地域住民はもとより、市民団体に施設運営に積極的に参加していただき、互いに商店街活性化のための問題意識を共有することが重要であると実感した。

【関 連 U R L】

串間商工会議所 <http://www.miyazaki-cci.or.jp/kushima/>